

2016年 日本沙漠学会 秋季シンポジウムのお知らせ

日本沙漠学会では下記のとおり、2016年度の秋季シンポジウムを企画しています。
中部人類学談話会の皆様もぜひご参加ください。(参加無料 来聴歓迎)

日時：2016年10月15日(土) 13:30~17:30

場所：名古屋学院大学「栄サテライト」第8講義室

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階

名古屋駅より地下鉄東山線2つ目「栄」下車。12、13番出口より徒歩1分

ラクダは乾燥に強い動物です。本シンポジウムでは、おもにカザフスタンで飼育されているラクダに注目し、多角的に検討します。カザフスタンでは、昔からヒトコブラクダとフタコブラクダの2種が飼われており、目的に応じてこれらの交配も行われてきました。近年は、乳量の多いヒトコブと、寒さに強いフタコブを交配させたハイブリッドの作出も行われています。そこで、ラクダの動物としての特性を、DNA、生態、行動の点から解明すると同時に、ラクダを人間がどのように利用してきたか、その相互交渉の歴史と現状についての研究*を進めています。本シンポジウムでは、その研究成果を広く公開し共有したいと思います。

*科研費補助金 基盤(B)「中央アジアにおける大型家畜の利用：
カザフスタンを中心に」(代表：今村薫)

テーマ：「中央アジアにおけるラクダ牧畜—ラクダと人間の相互交渉の歴史と現状—」

プログラム：

13:30~13:40 趣旨説明 今村薫 (名古屋学院大学教授)

13:40~14:10 S.T., Nurtazin (Al-Farabi Kazakh National University, Professor)

Economic use of camels in Kazakhstan - past, present and future perspectives

14:10~14:20 R. Sala (Al-Farabi Kazakh National University, Professor)

Camels in the archaeology of Central Asia (今村による代読)

14:20~14:50 星野仏方 (酪農学園大学教授)

気候変動とラクダの飼育—ラクダの生態学的特性における新知見

14:50~15:20 石井智美 (酪農学園大学教授)

カザフスタンのヒトコブラクダとフタコブラクダの乳の季節変動

15:20~15:30 休憩

15:30~16:00 斎藤成也 (国立遺伝学研究所教授)

ラクダのDNA分析

16:00~16:30 風戸真理 (北星学園大学講師)

モンゴル人による定住地域と牧畜地域間の移動：通学・就職・自然災害に注目して

16：30～17：00 今村薫（名古屋学院大学教授）

カザフスタンにおける家畜ラクダの分布と牧畜技術の変遷

17：00～17：30 総合討論

18：00～20：00 懇親会（モンゴルレストラン 「シンキロー」にて）

出席申し込み先／今村薫 Email: [imamura\(at\)ngu.ac.jp](mailto:imamura(at)ngu.ac.jp)

【出席申込方法】会場準備の都合で恐縮ですが、10月7日（金）までに、下記1～4. について記入の上、Email で今村までお申し込みください。円滑な運営のため、事前申し込みにご協力いただけますと幸いです。

1. 氏名
2. 所属先
3. 秋季シンポジウムへの出欠
4. 懇親会への出欠

秋季シンポジウムと懇親会場の場所は以下のとおりです。

モンゴルレストラン シンキロー

〒460-0008 名古屋市中区栄 4-6-40 岡崎ビル南館 2F

電話番号：052-263-7731

<http://www.site-builder.jp/1090/mongol-shinkiro/>

